

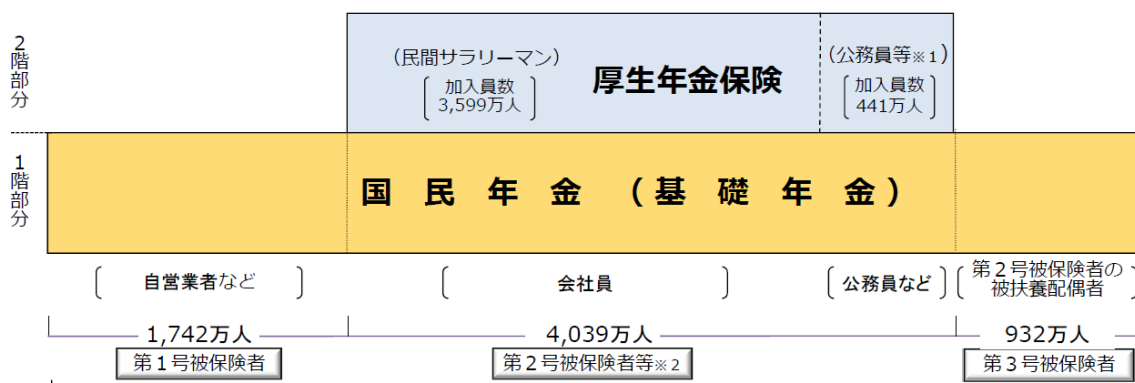
国の年金制度

国の年金は社会全体の支えあいにより運営されています。

「老齢」になったとき、あるいは「死亡」、「障害」といった万一のときに備えて、国民が保険料を出し合い社会全体で支える仕組みとなっています。

日本に住む 20 歳以上 60 歳未満の人はすべて「国民年金」に加入することになっており、また民間企業で働く人等は「厚生年金保険」にも加入しています。この 2 つの年金制度は国が運営する年金制度（公的年金制度）で、高齢期の所得保障の中心となります。

(数値は平成27年3月末)



詳細については、日本年金機構にご確認ください。